

日本聖公会



大阪教区報



日本聖公会
大阪教区総務局
〒545-0053
大阪市阿倍野区
松崎町2-1-8
TEL 06-6621-2179
FAX 06-6621-3097
発行責任者
総務局長 司祭 内田 望

+++++ 第497号 2022年4月20日発行 +++++

イースターメッセージ 暗闇の向こうに

主教 アンデレ 磯 晴久

「婦人たちは、安息日には
掟に従って休んだ。そして、
週の初めの日の明け方早く、
準備しておいた香料を持って
墓に行った。見ると、石が墓
のわきに転がしてあり、中
入っても、主イエスの遺体が
見当たらなかった。そのため
途方に暮れていると……」(ル
カ 23・56b～24・4)

主のご復活を心からお祝い
申し上げます。

「わたしたちが くらやみに
とどまることのないように
キリストはひかりとして 世
に來られた。」(ヨハネ12・46)

テゼの賛美の中に、この聖句
に塩田泉神父が曲をつけた歌
があります。機会があれば、
是非皆様とご一緒に歌いたい
願っております。

今世界中に暗闇の中にあると
感じている方や、暗闇の存在を
感じている方が多くおられま
す。新型コロナウイルスの存在

がありますが、ウクライナへの
ロシア軍侵攻は、さらに闇を深
くしています。先日、3月4日
朝日新聞朝刊「天声人語」に、
次のような一節がありました。
「二人の兵士の視点から戦争への
疑問を突き付けるのが、シヤン
ソンの名曲『脱走兵』だ。フラ
ンスの作
家ボリス・
ヴィアン
の手によ
るもので、
招集令状
を受け
取った男
がこんな
手紙を書く。

〈大統領閣下私は戦争はし
たくありません。可哀そうな
人たちを殺すために生まれて
きたからではないからです〉
「そんなのです。誰も戦争で人
を殺すために生まれてきたので
はありません。誰も戦争で殺
されるために生まれてきたので
はありません。人は生きるた
め、お互いに愛し合い、助け合



い、仕合せになるために生まれ
てきたのです。しかし、殺す人、
殺される人があり、暗闇が覆っ
ています。ウクライナだけでは
ありません。ミャンマーやスーダ
ン、コンゴ、シリア、パレスチナ、
挙げればきりありません。

聖書にも暗闇が出てまいり
ます。最も深い闇は、主イエ
スの十字架の出来事です。ル
カ福音書22章39節オリーブ山
での祈りから23章裁判と十字
架の道行きを読みますと、主
イエスの苦しみの深さ、主イ
エスを十字
架にかける
人々の闇の
深さ、その
人々の中に
私の姿が重
なり、私は
頭を深く垂
れるしかあ
りません。そして主イエスに
従ってきた婦人たちも暗闇に
覆われています。

この方こそ真の師・先生と
して慕い従ってきた婦人たち
でした。しかし、師は十字架
の上で、無残な死を遂げてし
まわれました。大切な師を
失った婦人たちは、主イエス
の弔いをし、お墓を守って、
思い出に生きていこうと思っ

たでしょう。ところがお墓に
行ったところ、ご遺体さえ無
くなっている。自分たちはど
う生きていったらいいのか、
途方に暮れている婦人たちが
います。闇はさらに深まって
いるように思われます。

しかし、お墓の中に、2人
の天使がいて、こう言うので
す。「なぜ、生きておられる
方を死者の中に捜すのか。あ
の方は、ここにはおられない。
復活なさったのだ。…」婦人
たちは、まだはつきりとはわ
かってはいませんが、何かが
起ころうとしている、それも
光を感じ始めます。聖書にも
暗闇が描かれています。しか
し暗闇の向こうに光が垣間見
えてきます。世界中で平和が
祈られています。私たちも世
界中の人々と心を合わせて祈
りましょう。暗闇の向こうに、
復活の光があることを信じ、
神さまから賜う奇跡を祈り求
めましょう。

「わたしたちが くらやみに
とどまることのないように キ
リストはひかりとして 世に來
られた。」(ヨハネ12・46)

(大阪教区主教)



主の平和がありますように。

日本聖公会宣教協議会実行委員会です。今後、各教区の教区報の紙面を定期的にお借りいたしました。宣教協議会のテーマや具体的なプログラムについて、また1995年と2012年に開催された宣教協議会で協議されて分かち合われてきたことについてお伝えさせて頂きたいと思います。

主イエス様は「私はぶどうの木、あなたがたはその枝である。」(ヨハネ15・5)と言われました。「ぶどうの木」であるイエス様とつながり、そこから伸びていく「ぶどうの枝」である日本聖公会に連なる皆様お一人お一人と一緒に協議会の準備を進めていきたいという願いからタイトルを「ぶどうの枝だより」としました。第1回目は「2023年宣教協議会について」

これまで準備してきた事についてお知らせいたします。

これまでの経緯

2020年10月の日本聖公会第65(定期)総会において、2022年11月に清里で宣教協議会が開催されることが決議されました。

この決議をもとに構成された実行委員会は、オンラインミーティングを重ねて、準備を進めています。また、2021年9月9日(木)・10日(金)・10月7日(木)・8日(金)の4日間にわたり、各教区の宣教担当者とおんらいにて意見交換を行いました。話し合いの中で、たくさんの課題と恵みが見えてきました。新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、実行委員会は、対面での集まりを一度もつことができていません。そのような状況下で、また2022年の新型コロナウイルス感染症状況が見通せない

中、大勢が対面で集まる事が可能かどうかという、プログラムを作る上での課題がありました。そして何より、皆様との対話の場の設定が必要でした。宣教協議会の準備は、各教会や教区、諸施設も含め、日本聖公会に連なる皆様お一人お一人との対話の中で、深められ、多くの方々と一緒に、進められていくことが必要だと考え、実行委員会は1年間の開催延期を提案し、主教会と常議員会で承認を頂きました。

アンケートへのご協力ありがとうございました。



2021年4月から6月にかけて、各教区・教会・関連施設・管区の委員会の皆様には、アンケートにご協力頂きました。それは2012宣教協議会からの「10年の実り」や、様々なご意見をお寄せいただくものでした。アンケートの回答は、実行委員会にて

常に参考にさせて頂きたいと思えます。尚、アンケートの回答結果については「2023年日本聖公会宣教協議会ブログ」にて公開されていますのでご覧下さい。

大切にしていきたいこと・これからの予定

宣教協議会の実施にあたっては、以下のことを大切にしていきたいと思えます。また、今後の予定についてもお知らせします。

- 皆様と意思を分かち合い、共に祈り、つながるプロセスを大切にします。宣教協議会は1年半先のことではなく、すでに今、この瞬間に始まっていると、考えていただければと思えます。
- 「ぶどうの枝だより」として、『管区事務所だより』、各教区報や、ブログ、Facebookなどで情報を発信していきます。
- 「ぶどうの枝分科会」として、2か月に1度、様々なテーマの分科会(管区の各委員会代表者、青年委員やU26運営委員、各教区青年担当者、

関連施設チャプレンなど)を行います。
○「ぶどうの枝協議会」として、2022年8月22日(月)～23日(火)に、各教区宣教担当者や管区諸委員と実行委員会が対面で集まり、今後の道筋を分かち合う予定です。
○宣教協議会の最終日としての全体会を2023年11月10日(金)～13日(月)の3泊4日、清泉寮(山梨県清里)にて開催いたします。

日本聖公会 大阪教区婦人会
昇天日礼拝・第98回総会
日時:2022年5月26日(木)10時30分
会場:大阪聖アンテレ教会
説教者:司祭シモン原田佳城(大阪聖パウロ教会牧師)
献金先:大阪聖三一教会建築資金のため



日本聖公会
宣教協議会
ホームページ

第128 (臨時)教区会報告

書記 司祭 小林 聡

2022年3月20日(日)、川口基督教会にて、臨時教区会が行われ、主教磯崎久議長、教役者議員17名中15名、信徒代議員35名中34名が出席。

最初に磯主教からの演説があり、多様性の一致、コロナ禍における一人ひとりの癒しの必要、教会・教区の振り返りとしての「健康診断」の必要などが語られ、特に今後3年の中で、これからどう歩むのかを分かち合って欲しいと

黙想会

聖職養成委員長

司祭 内田 望

聖職養成委員会主催の春の黙想会が2年ぶりに3月21日(祝・月)、西宮聖ペテロ教会で行われました。コロナ後を見据え、「司牧の原点」というテーマで竹内信義司祭さまからお話しを伺いました。竹内司祭は、「パンデミックを通して、自分の姿を、これまでの自分の働きを見直してみよう。必要性をまずお話しされました。そして「刈り入れを待っている世界がある」(ヨ

語られました。

諸報告の中では、京都教区との合併に関する議案が昨年11月の教区会で否決されたことについて、常置委員会としての分析報告が事前に配付され、今教区会迄に意見を集めていたが、16通の返信に留まっていたが、イースター迄期限を延長して、広く意見を募ることが柳時 京常置委員長から報告された。より多くの方々の意見・思いを出し合いながら教区としての歩みを歩んで行きたいとの主教、常置委員の思いが語られた。

議案審議では教区予算の在り方、又牧会献金等の用い方などが活発に議論された。今

ハネ4章35(36節)を引用され、これからの教会の姿について、また、司牧の注意しなければならぬ点を各自の経験をもとに多面からお話をされました。まだまだ心配が尽きませんが、改めて自分の働きを、自分の教会の姿を振り返る時となりました。参加者は教区神学生を含めて、13人の参加があり、最後の夕の礼拝で大阪聖三一教会のために信施が献げられました。恵みに満ちたひとときを過ごすことができましたことを感謝します。



回、教会合併の議案が出されたことから、この4月1日より庄内伝道所となる庄内キリスト教会の代議員の方から、今日この日が庄内キリスト教会として最後の聖餐式でしたとの言葉に、寂しさを感じるのと同時に、前に進んでいくための決意と希望を感じ取るものが出来ました。又トマス教会の代議員の方からは祈り、礼拝を共にし、互いを知る場を作ってきたことが語られ、この合併に到る道のりが他の教会のこれからの歩みにも大いなる励ましとビジョンを与えられていることを感じました。議案結果は次の通り。

- 議案第1号 2021年度日 本聖公会大阪教区決算承認の件↓可決
- 議案第2号 2021年度日本聖公会大阪教区一般会計收支余剰金処理の件↓可決
- 議案第3号 大阪聖ヨハネ教会が現在独自に持つ主教法人格を、大阪教区に一元化する件↓可決
- 議案第4号 石橋聖トマス教会、庄内キリスト教会の合併を承認し、庄内伝道所を設立する件↓可決
- 議案第5号 宗教法人「日本聖公会大阪教区」規則改正の件↓可決

閉会后、ウクライナのことを思い、皆で平和の祈りを献げました。主教、宣教局、常置委員会、教区婦人会、連合男子会等が、これまで皆で紡いで来た平和、共生、多様性等の言葉をウクライナでの平和を願いながら私たちの日常の言葉と書いて祈ることが出来ました。4月3日(日) 大斎節第5主日の信施をウクライナのためにお届けくださいとの磯主教の呼びかけと共に、次の磯主教の平和メッセージを心に留め、それぞれの場に派遣される教区会となりました。

編集後記

先月号より始めました新たな表紙は皆様いかがでしたか?小池司祭様(先月号で主教様と間違えてしまい大変申し訳ありません)が作られた大阪教区報のデザインから一歩飛び出すというのは大変な勇気があることでありましたが、いただきましたフィードバックでは好評いただいたようで、広報委員一同大変喜んでおります。これから順番に各教会が登場して参りますので、ご自分の教会が出

る日をどうぞ皆様心待ちにしていただけばと思います。今月号の大きなトピックとして、宣教協議会準備便りがあります。宣教協議会は皆さんのなかにも記憶に新しい方もいらっしゃると思いますが、2023年に再び開催される予定です。聖公会全体の未来を占う大切な会議ですので、これからも広報し、動向を追って参りたいと思います。次号5月号は連休等の関係で少々皆様への配布が遅れる可能性があります。何卒ご容赦いただきたくおもいます。

広報委員長 金山

大阪教区関係教役者 5月逝去者記念聖餐式

5月11日(水) 10:30~

- 15日 司祭 米村 健治 (1979)
- 24日 伝道師 エメイ 小幡 久能 (1961)
- 29日 司祭 アーネスト・ゴードン・ハチンソン (1973英)
- 30日 宣教師 メーベル・C・バッグス (1984英)

* 教役者逝去記念聖餐式は、毎月第2水曜日午前10時30分から、川口基督教会で行われます。ご関係の有無にかかわらず、どうぞ自由にご参加ください。

- * 教区の今後についての継続協議：臨時教区会で示す「合
- * 国の水際対策緩和により、韓国ソウル教区金斗承司祭の受入れ手続きを再開した。
- * 臨時教区会でウクライナ侵攻を念頭に祈りを行うことについて協議した。
- * 大韓聖公会から出ている「日韓友情聖堂」と協働関係40周年について協議した。
- * 臨時教区会でウクライナ侵攻を念頭に祈りを行うことについて協議した。

初 陪 餐

芦屋聖マルコ教会(2月20日)
ワルブルガ 永野 和奏
アンドレア 山田 桃

庄内キリスト教会(3月13日)
ピース 木村 歩美

受 洗

芦屋聖マルコ教会(2月20日)
ワルブルガ 永野 和奏
アンドレア 山田 桃

大阪城南キリスト教会(3月6日)
ルカ 今井 寛之

受 洗

庄内キリスト教会(3月13日)
ピース 木村 歩美

芦屋聖マルコ教会(2月20日)
ワルブルガ 永野 和奏

逝 去 者

○編集後記
小池主教↓小池司祭
関係者の方々にお詫びして、訂正いたします。(編集部)

主教巡回予定(5月)

- 1日 守口聖オーガスチン教会
- 8日 尼崎聖ステパノ教会
- 15日 西宮聖ペテロ教会
- 22日 恵我之荘聖マタイ教会
- 29日 大阪聖愛教会

魂の平安をお祈りします

退職主教 ヤコブ 宇野 徹 (3月8日・83歳)

尼崎聖ステパノ教会 (3月7日・93歳)
ルツ 西松 和子

川口基督教会 (3月11日・75歳)
ヨセフ 勝見 仁昌

堺聖テモテ教会 (3月6日・85歳)
川口 潤

聖贖主教会(3月11日・73歳)
マーガレット 田主 孝子

大阪・北関東教区 (3月8日・83歳)
退職主教 ヤコブ 宇野 徹

【常置委員】報告 3/10 第6期

I. 主教報告及び諸報告

- * コロナ関連対応について、注意を怠らず現在の対応を継続する。
- * 4月初旬は学校関係の行事が重なるため、主教と常置委員で出席を調整する。
- * パウロ教会の今後に関する検討を行う「パウロプロジェクト」についての報告を今後常置委員会に対して行う。

区礼拝について、開催の方向で検討している。

・ 教区としての青少年のためのプログラムが無くなっており、受け皿を検討している。

・ 宣教局のビジョンとして「平和」について考える。

・ 教区百周年へのビジョン、取組を考える。

【財務局】 牧会補助金申請が出ているルカ教会、マタイ教会について九割の額を承認した。

【総務局】 4月からの2教会合併に伴う庄内キリスト教

会の納骨堂設置許可証の教会名変更手続きを行う。

【中日本宣教協働区協働委員会】

- ・ 2月17日開催。4教区合同のチャプレン研修会を検討している。
- ・ 4教区の代祷表を交換し合うことにする。
- ・ 宮本憲神学生は2022年度、ウイリアムス神学館での臨床牧会訓練と教会での実習を行う。

II. 協議事項及び主教諮問

- * 生涯学習委員会から出されたキッズフェスティバルのための補助金申請を承認した。
- * 教区主催の青少年プログラムに参加の費用を教区、教会、本人各1/3負担とすることについて、牧師の事前許可を条件として承認した。
- * 2教会合併に伴う教会委員、信徒代議員選出について協議した。

併議案否決の分析」について事前に意見を求め、教区会当日での状況を踏まえて今後の進め方を検討することとする。

3/15 (7回 第7回 臨時)

大阪聖パウロ教会の教会委員との面談を行った。

3/23 (8回 第8回 臨時)

大阪聖パウロ教会の件に付き、原田佳城司祭との面談を行った。